クラスだより
こりす組
10月号

朝晩は涼しくなってきたものの日中はまだ汗ばむような日もありますね。金木犀の香りがしたと思えば、あっという間に散ってしまったり、この時期に珍しくてんとう虫を見つけたり、季節が行ったり来たりしているように感じます🍂
そんな中でも、子どもたちは木の実を見つけたり、園庭にブルーシートを広げてゴロンと寝ころび青く澄んだ高い空を見上げたりと、その日その日の自然の恵みを心と体いっぱいに感じながら夢中で遊びこんでいます。



運動会では親子でご参加くださり、ありがとうございました。こりす組ならではの姿が微笑ましかったですね♡いつもとは違う場所で少しドキドキしながらも、お天気に恵まれ、大好きなお家の方と楽しく過ごせた経験が、また次の成長の一歩に繋がっていくと思います。



大きく成長する時期、園での姿やご家庭での様子など、気になることやご心配なことがありましたら遠慮なくいつでもお声掛けください。

✿おともだちといっしょに✿

13人のクラスになって約２ヶ月。日に日に、こりす組らしいひとつの輪ができてきました。
好きな遊びや「楽しい！」と思うことが重なると、自然と一つの場所に集まり、頭を寄せ合っています。また視野も広がり、友だちのしていることが気になり、一緒に遊ぶ姿も増えています。積み木で小人さんの大きなお家を作りあげ、ストーリー立ててお部屋中を旅していたり、シートを敷いてピクニックが始まり、それぞれが持ち寄った物を紹介しながらお話に花を咲かせていたり。遊びを通してしか育たない心の動きが、どんどん生まれています。お外へ遊びに出る時は、みんなで手を繋いで「こりす組のへびさん！」と長い列になって歩き、手が離れると「みみずさんになっちゃった！」と笑い合い、両端の子が手を繋ぐと「ドーナツになったよ！」と、繋がることそのものを体験しながら、「自分一人で」から「お友だちと一緒に」という喜びが子どもたちの中に育っています。
また、幼稚園には「平和を祈る日」があり、今月も熊本地震で困っている方々を覚え共に祈る時をもちました。地震後断水になり水を分け合う写真を見て、こちらからの問いかけに「お水がないと手が洗えない」「スープが作れない」「お水をあげたい」と声をあげ、次の日にも、外遊びの時に「お水無くなるから１回にする」と控える・ポタポタとしている蛇口に気づいて自ら締めにいく・「お水がない人まだ困ってる？」と尋ねてくる・という姿がありました。小さいからわからないのではなく、今だからこその心の動きがあるのだと思います。日々の遊びの中で育っている「誰かと繋がる喜び」が、人を思いやる心となり、そして豊かに社会や世界へと繋がっていくことを子どもたちの姿から感じています。









✿お兄さんお姉さんと✿



園庭でパラバルーンをする年長組を応援しているうちに「やってみたい！」と目を輝かせたこりす組さん。２クラスの年長組さんにお誘いしてもらい、一緒にパラバルーンやフォークダンスを経験することができました。お部屋に迎えに来てもらい、初めは不安そうにしていた子も、年長さんの優しい言葉がけや眼差しにすっかり安心して、笑顔で飛び跳ねて楽しんでいました。他の日には、年中さんと森で青空の下、礼拝もしました。先生のギターの音色に合わせて讃美歌を歌い、お祈りをし、共に心を合わせる時を持ちました。お兄さんお姉さんの姿をじっと見つめ、「こんなふうになりたい」と憧れを抱き、一生懸命に真似をするこりす組さん。また大きい子たちは、小さい子の存在に「守らなくては」という気持ちが芽生え、小さい子のペースに合わせ、身をかがめ、顔を覗き込み、大切に寄り添う姿がみられました。異年齢の関わりを通して、「大切にしてもらった」という安心や喜びの経験がやがて誰かを大切する心へ、憧れる気持ちはいつか誰かの憧れになる力へと自然に繋がっていくのだと思います。
「共に育ちあう」という園の理念そのものです。





幼稚園では1番小さいクラスのこりすさん、みんなに愛されて大人気です♡

今月の讃美歌・歌
♪わたしたちの食べるもの
♪まつぼっくりがあったとさ



クラスの取り組み
＊友だちと共に好きな遊びを楽しむ
＊食べ物に感謝しながら給食を楽しくいただく
＊運動会の遊びを通して、身体を動かす楽しさを感じる